<第4412回>

目的地:釈迦岳&京都ビール工場 担当者:時本(主)・茨木(副) 実施日:2023年10月1日(日)

形 式:初級ハイキング

費 用: (阪急) 大阪梅田駅 発着 ¥1,170. (JR) 大阪駅 発着 ¥1,540.

参加者:16名

天 気:曇り時々晴れ

行 程:向日町駅(8:35)⇒東向日駅(8:42)=[阪急バス]⇒(9:09)善峯寺バス停[300m]

(9:22)→(10:28) 釈迦岳・大杉間の尾根到達 →(10:34) 釈迦岳 [630.8m](10:45)→

(11:45) ギロバチ峠付近のキャンプ場 [360m・昼食](12:15)→(13:15) 天王山分岐 [290m・ティータイム](13:35)→(14:35) サントリー京都ビール工場 [工場見学](16:45) = [シャトルバス]⇒(16:50) 西山天王山駅⇒(17:00) 長岡京駅

感想:

サントリーの京都ビール工場見学は、2015年9月にIさん担当の例会で行って以来ファンになり、2018年6月のIさん担当の例会、会社の同僚と1回、友達と2回と、計5回行きました。その後工場見学は、コロナ期の中止を経て有料で再開されましたが、この度無料となったことを知り今回の例会を計画しました。なお、京都ビール工場見学を釈迦岳山行の後に組み込んだ例会は、Iさんが開拓されたコースで、単独で担当するのは申し訳ないと思いましたので、Iさんに副担当を依頼したところ快く引き受けていただきました。また、ビール工場の見学は予約制のため15名の定員でしたが、例会の10日ほど前に定員に達しました。

例会前日17時の天気予報は、午前6時~午後6時の降水確率が20%の曇りで、降水確率70%以上で中止とした条件をクリアし実施できる状況でした。ところが当日朝は結構激しく雨が降っており、予報が外れたと思いました。しかし、次第に回復するという予報となっており、多分雨に降られないだろうと思いながら集合場所に向かいました。

釈迦岳の登山口の善峯寺に行くバスは、JR線の向日町駅を始発として阪急電鉄の東向日駅を経由するため、両方の駅前のバス停を集合場所としていました。工場見学を申し込まれた皆さんの住所から考えて東向日駅から乗車される人が圧倒的に多いと思っていましたが、向日町駅のバス停に到着すると、予想より多くの方がバス停に来られていました。中には阪急沿線の人も含まれていたため、JR駅側に来られた理由をお聞きすると、「確実に座っていけるから」ということでした。

途中、東向日駅から過半の方が乗ってこられ、善峯寺バス停で開始のミーティングを行ないました。この段階で予めビール工場見学を申し込まれていた15名のうち2名の方がキャンセルとなったことが分かりましたので、急遽事前に打診があったSさんと、見学の1名の方にビール工場見学ができることをお伝えし、釈迦岳に向かって出発しました。バスに乗車する前から既に雨は上がっており、順調に高度を上げていきました。当日は涼しいと予想していましたが、湿度が高く風が殆ど吹かなかったため、前週の鳥見山・貝ヶ平山・香酔山例会の日よりも暑く感じました。

登り始めてから約1:10で釈迦岳頂上に到着し、集合写真撮影後頂上を出発した時刻は、事前に考えていたより10分早い 10:45 でした。今回のビール工場見学を予約した際に、「15:00 までに受付を済ましてください。また、14:50 に工場に到着されていない場合は、私どもから電話をお掛けします。」と言われていました。そのため進み具合を意識せざるを得ない状態でしたが、釈迦岳頂上からは基本下りということを考慮すると、この段階で予定時間より約10分早いということで少し気持ちに余裕ができました。

釈迦岳頂上を出発してしばらく進むと沢沿いを歩きました。沢沿いですがあまり涼しさを感じませ

ん。周囲が真夏の暑さではないため温度差が少なかったうえ、湿度が高かったということが影響したのでしょう。それでも景色に変化があって楽しめました。昼食は、8年前の前々回や5年前の前回同様、ギロバチ峠手前のキャンプ場でいただきました。ここはベンチも設置されていて休憩場所に適しています。

YAMAP の地図には主要な登山道に赤い線が引かれていますが、昼食場所を出発後しばらく進むと YAMAP の地図に赤い線が引かれていない点線で表示された登山道を進みます。その登山道に入る場所をはじめ今回の行程では分かりにくい場所が何ヵ所かありました。そういった分かりにくい場所で、ご自身が通った道をよく記憶されているTさんに、以前に参加されたときの記憶を基に進むべき進路を示していただいたお陰で、手戻りが殆どなく、最も効率的な順路で進むことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

小倉山付近で天王山方面への分岐があります。 Y さんが天王山経由で帰ると言われましたので、ここでビール工場に電話をかけ、他グループにキャンセルが発生したら優先的に 2 名割り当てて欲しいと朝に依頼していたことについての状況を確認しました。しかし残念ながらキャンセルは出ていないということでしたので、やはり Y さんにはそのままお帰りいただくことになりました。もっとも、何もなしでお帰りいただくのは申し訳ないと思いましたので、時間に少し余裕が出てきたことでもあり、短時間ですがティータイムをとりました。その後、小倉神社に到着するまでにビール工場から連絡がありキャンセルが発生しましたとのこと。少しの差でした。ただ、同行を続けておられたFさんには工場見学に参加していただけることになりました。

皆さんに早く歩くことに協力していただいたことと、Tさんの的確なアドバイスにより、予定していた時刻より約15分早い、14:35 に京都ビール工場に到着しました。着替えをする時間も確保できる余裕の時刻です。工場見学では、順路に従いサントリービールが天然水やホップにこだわるといったことや醸造過程についての説明を受けました。ビール工場見学の最後は、お待ちかねのティスティングの時間です。今回は前回までと異なり、プレミアムモルツ・香るエール・マスタードリームの3種類のビールの飲み比べセットも提供され、最後にその3種類のうち自分の好みのビールをいただくという趣向になっていました。ティスティング会場では、参加された皆さんは楽しく歓談され、ミニ宴会風の様相でした。

今回は見学の方が1名参加されており、今年は入会される方が少ないということでせっかく見学に来られたので入会していただきたいと思っていました。ただ健脚のようで列の中間を歩かれていることが多かったため私は話しかける機会は少なかったです。離れた場所で見ていたところ、〇さんがよく話しかけておられ、新人担当の方をはじめ何人かの方も気にかけられていたお陰で、本例会の終盤に入会される意向と伺い、初級ハイキングの例会担当として安心しました。また、皆さんには当日は朝の雨にも拘わりませず、ご参加いただきましてありがとうございました。